

ニュースリリース

2022年7月1日

株式会社リガク

リガク、新型偏光光学系搭載のエネルギー分散型蛍光 X 線分析装置 「NEX CG II」国内販売開始～微量元素分析に対応～

X線分析機器、検査機器のトップメーカーである株式会社リガク（本社：東京都昭島市、代表取締役社長：池田俊幸、以下「リガク」）は、エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置「NEX CG II（ネックス シージーツー）」を開発し、7月1日より国内販売を開始することを発表します。

リガクは創業から70年にわたり、あらゆる産業において製品開発・品質管理に役立つ X 線分析装置を数多く提供して参りました。

この度の新製品「NEX CG II」は、全世界で700台以上の納入実績を誇るリガクの EDXL 300/NEX CG をベースに開発した、次世代のエネルギー分散型蛍光 X 線分析装置です。創業以来蓄積してきた技術と知見により、NEX CG の最大の特長であった偏光光学系に磨きをかけ、更なる分析性能の向上を実現しました。

X線源・2次ターゲット・検出器を特殊な位置関係で3次的に配置することで、分析の妨害となるバックグラウンド X 線を抑制し、標準的な光学系では分析できない微小なピークを検出します。最新の SDD 検出器を搭載したことによる高感度化（従来比最大5倍）と併せ、微量重金属、ハロゲン分析の要求に確実に応える 1ppm 未満の LLD（検出下限）を実現しました。

また、ユーザーフレンドリーなソフトウェア搭載により、測定条件設定や分析操作の作業効率をあげ、現場での高感度分析に貢献します。

特に環境分析や産業廃棄物、リサイクル原料、電子部品材料、医薬品原料、化粧品等における微量成分元素分析に有効です。

販売価格 ¥9,000,000～

販売台数 初年度 130 台（全世界）

「NEX CG II」は、9月7日から9日に幕張メッセで開催される JASIS 2022 に出展します。

NEX CG II の主な特長

- ナトリウム (Na) からウラン (U) の非破壊元素分析
- 固体、液体、粉末、コーティング、および薄膜の迅速な元素分析
- 微量分析に適した低バックグラウンド偏光光学系
- 高出力 50 W X 線管
- 大面積高速 SDD 検出器
- 大気、ヘリウム、または真空雰囲気での分析可能
- 高度なスタンダードレス分析プログラム (RPF-SQX)
- 簡単操作ユーザーインターフェース「らくらく分析」
- 残分推定機能 (散乱線 FP 法)
- 最大 52mm 径のサンプルに対応するさまざまな試料交換機

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社リガク EDX・携帯機器事業部 副事業部長：松尾 譲

リガク・ホールディングス株式会社 広報宣伝課課長：内匠 優理香

info@rigaku.co.jp

TEL : 042-545-8190